

酸化マグネシウム(2344009)

【成分】

[末]・[末] 重質：96%以上

[錠]：1錠中 200 mg, 250 mg, 330 mg

【適応と用法】

(1)次の疾患における制酸作用と症状の改善：胃・十二指腸潰瘍,胃炎(急・慢性胃炎,薬剤性胃炎を含む),上部消化管機能異常(神経性食思不振,いわゆる胃下垂症,胃酸過多症を含む)

(2)便秘症

(3)尿路シュウ酸カルシウム結石の発生予防

酸化マグネシウムとして

(1)制酸：1日 0.5～1 g を数回に分服(増減)

(2)緩下：1日 2 g を食前又は食後 3 回に分服,又は就寝前に 1 回服用(増減)

(3)尿路シュウ酸カルシウム結石の発生予防：1日 0.2～0.6 g を多量の水と共に服用(増減)

【注意事項】

(1)慎重投与

(a)腎障害のある患者 [高マグネシウム血症を起こすおそれがある]

(b)心機能障害のある患者 [徐脈を起こし,症状が悪化するおそれがある]

(c)下痢のある患者 [症状が悪化するおそれがある]

(d)高マグネシウム血症の患者 [症状が悪化するおそれがある]

【副作用】

(2)相互作用

併用注意：吸着作用,制酸作用等を持っているので,他の薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある

薬剤名等 臨床症状・措置方法 機序・危険因子

テトラサイクリン系抗生物質 ・テトラサイクリン ・ミノサイクリン等 ニューキノロン系抗菌剤 ・シプロフロキサシン ・トスフロキサシン等 エチドロン酸二ナトリウム これらの薬剤の吸収が低下し,効果が減弱するおそれがあるので,同時に服用させないなど注意する マグネシウムと難溶性のキレートを形成し,薬剤の吸収が阻害される

セフジニル この薬剤の吸収が低下し,効果が減弱するおそれがあるので,同時に服用させないなど注意する 機序不明

高カリウム血症改善イオン交換樹脂製剤 ・ポリスチレンスルホン酸カルシウム ・ポリスチレンスルホン酸ナトリウム これらの薬剤の効果が減弱するおそれがある。また,併用によりアルカローシスが現れたとの報告がある マグネシウムがこれらの薬剤の陽イオンと交換するためと考えられる

活性型ビタミン D3 製剤 ・アルファカルシドール ・カルシトリオール 高マグネシウム血症を起こすおそれがある マグネシウムの消化管吸収及び腎尿細管からの再吸収が促進するためと考えられる

大量の牛乳 カルシウム製剤 milk-alkali syndrome(高カルシウム血症,高窒素血症,アルカローシス等)が現れるおそれがあるので,観察を十分に行い,このような症状が現れた場合には中止する 機序：代謝性アルカローシスが持続することにより,尿細管でのカルシウム再吸収が増加する 危険因子：高カルシウム血症,代謝性アルカローシス,腎機能障害のある患者 ジギタリス製剤 ・ジゴキシン ・ジギトキシン等 鉄剤等 これらの薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがあるので,服用間隔をあけるなど注意する 本剤中のマグネシウムの吸着作用又は消化管内・体液の pH 上昇作用によると考えられる

(3)副作用：使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない

種類\頻度 頻度不明

代謝異常(注) 高マグネシウム血症

消化器 下痢等

(注)長期大量投与により発現することがあるので,観察を十分に行い,異常が認められた場合には,減量又は休薬等の,適切な処置を行う

(4)高齢者への投与：一般に高齢者では生理機能が低下しているので,減量するなど注意する

(5)その他の注意：長期・大量投与により胃・腸管内に結石を形成し,腸閉塞を起こしたとの報告がある

(6)室温保存

(7)規制等：酸化マグネシウム局